

ぶるーむの風

# 柏かをりの杜

～障がいを持つ子どもたちも楽しめるかおりのガーデン～

## 企画概要

重症心身障がい児を対象とした施設に付随するかおりで楽しめる森を創出します。計画地は、社会福祉法人ぶるーむが2019年に新設する施設に隣接した保存林にあります。この保存林の林床（現状はササに覆われている）に新たにかおり植物を植栽することで、視覚だけに頼らない嗅覚でも体験できる森を計画します。障がいをもった人は、一部に障害がある一方でその他の感覚は人一倍優れており、視覚だけでなく嗅覚をはじめるとする5感を刺激する森とすることで、感性を刺激する場を創出します。

企画場所：千葉県柏市中原 1817-1



- ・計画地は住宅地内にあり緑地が乏しい→既存林を保全
- ・駅に近い→公共性の高く、多くの利用が見込める
- ・小学校が近い→通学路の教材・「みちくさ」の場

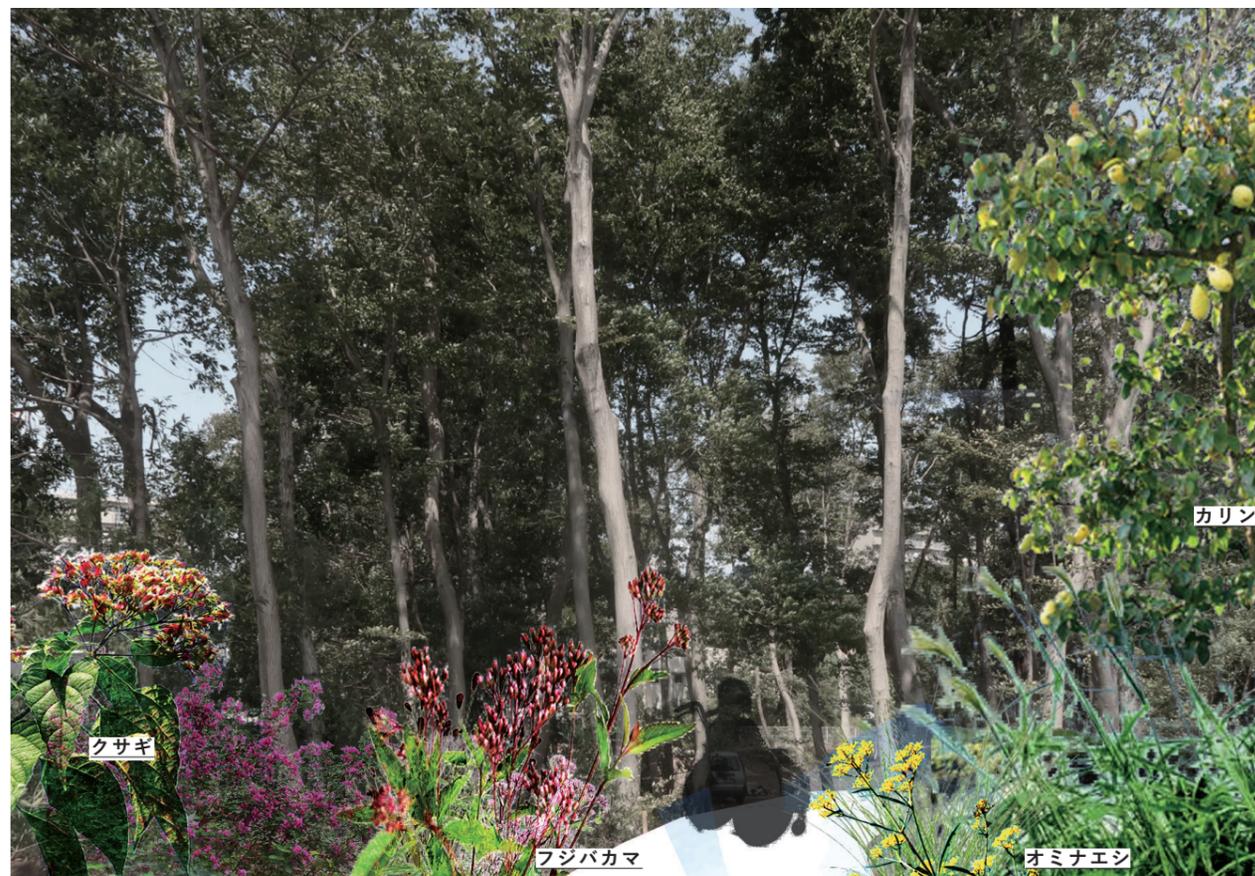
## 企画団体名

<施設運営者>社会福祉法人ぶるーむ

<建築>有限会社 辺見美津男設計室

<ランドスケープ>株式会社エスエフジー・ランドスケープアーキテクト

<学識>名古屋市立大学大学院芸術工学研究科大野暁彦研究室



## 企画場所東側

イヌシデを中心とする残存雑木林に園路を通しかおりの楽しめる散策路とします。林床にはクロモジ、ヤマコウバシ、ダンコウバイ、ジンチョウゲ、ミヤマシキミ、テイカカズラなどの木陰でも育つ香る低木地被を植栽します。また、北側境界部には、ヤブニッケイ、キンモクセイ、ネズモモチのかおりのする生垣でおもてなしをします。

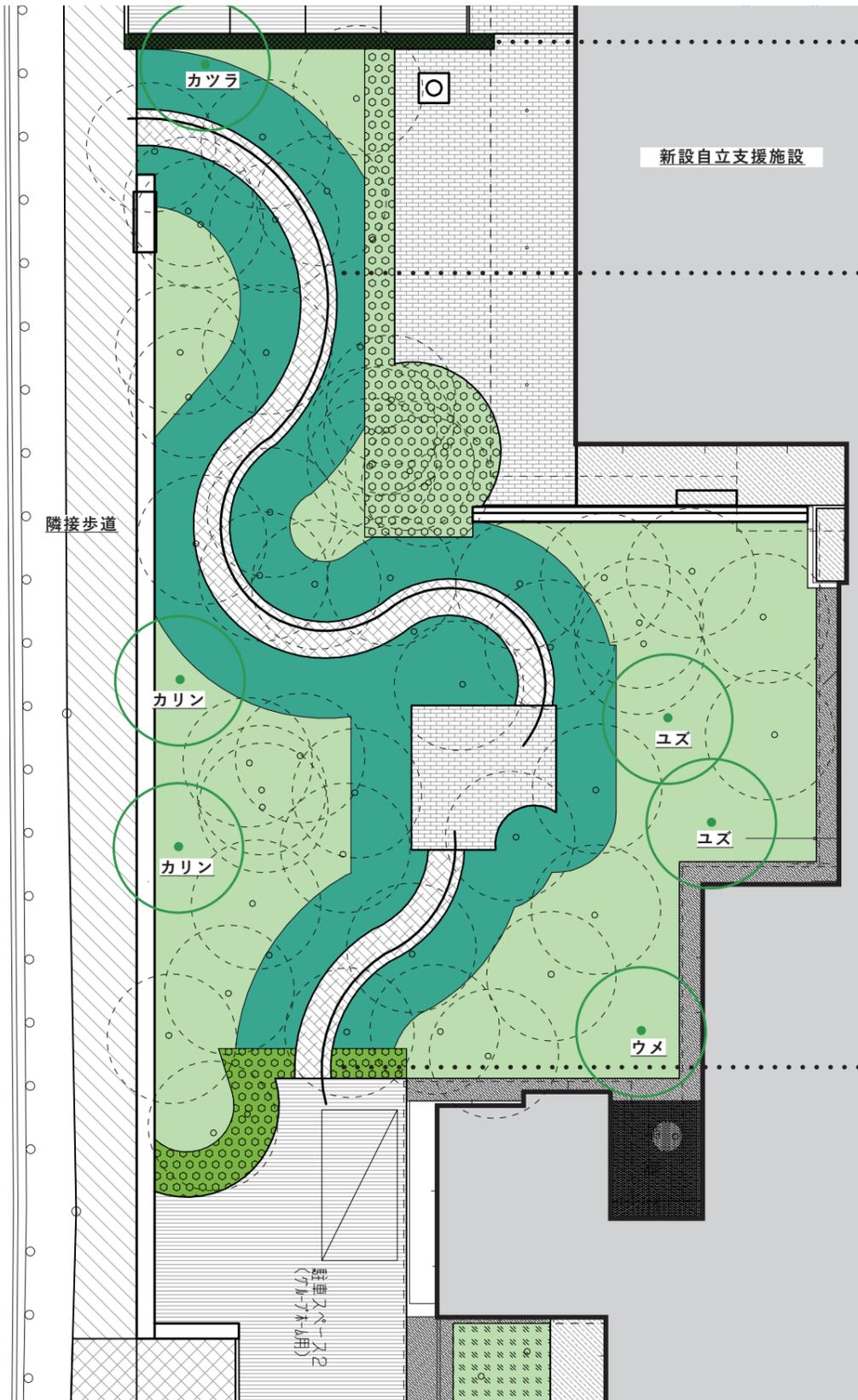


## 企画場所南側

現状植栽の乏しい既存林の南側林縁には、クサギ、フジバカマ、オミナエシ、マツカゼソウ、ヤマユリなどの低木・草本類のかおり植物を植栽します。また、新設施設の窓から見える部分には、カリンやユズ、ウメなど芳香性の高い果樹を植栽し、窓の外の森へ関心を持ってもらえるように工夫をします。

# 柏かをりの杜

～障がいを持つ子どもたちも楽しめるかおりのガーデン～



## 植物の選定

「いいかおり」だけでなく様々なかおりの植栽で構成し、感性を刺激します。

### かおりによるおもてなし生垣

- ネズミモチ 10本
- ヤブニッケイ 10本
- キンモクセイ 30本
- 以上の混ぜ垣

### 林間園路沿いの中木低木地被

- |             |               |
|-------------|---------------|
| <中木・低木>     | <地被>          |
| クロモジ 8本     | ジャノヒゲ 450pot  |
| ヤマコウバシ 1本   | スイセン 450pot   |
| ロウバイ 1本     | クサソテツ 2pot    |
| ダンコウバイ 1本   | ユキノシタ 2 pot   |
| ミヤマシキミ 150本 | シャガ 900 pot   |
| ジンチョウゲ 230本 | スギゴケ 0.79 m2  |
| クチナシ 230本   | ツワブキ 120 pot  |
| ツバキ 80本     | ヤブラン 330 pot  |
| サザンカ 80本    | フッキソウ 230 pot |
| テカカズラ 280本  | ベニシダ 330 pot  |
| ヤツデ 20本     | ハンゲショウ 10 pot |
| センリョウ 150本  | スギゴケ 0.79 m2  |
| ミツバツツジ 80本  |               |
| ヤブコウジ 180本  |               |
| キンメツゲ 30本   |               |
| マンリョウ 160本  |               |
| コアジサイ 230本  |               |

### 林縁の植栽

- |           |                  |
|-----------|------------------|
| <中木>      | <草本>             |
| クチナシ 230本 | フジバカマ 20 pot     |
| クサギ 3本    | オミナエシ 10 pot     |
|           | マツカゼソウ 25 pot    |
|           | ヤマユイ 50 pot      |
|           | ススキ 10pot        |
|           | ワレモコウ 10 pot     |
|           | シモツケ 100 pot     |
|           | イブキジャコウソウ 10 pot |
|           | カワラナデシコ 170 pot  |
|           | リンドウ 30pot       |
|           | ノシバ 13.37m2      |
|           | ウツボグサ 30pot      |

平面配置図 Scale 1:200

## 企画趣旨

### 周辺環境に合わせた公共性の高い独創的なデザイン

- ①企画場所は、隣接する新規で開設される障がいを持った子ども達の自立支援施設に合わせて、だれでも楽しめるガーデンとします。  
→障がいありなし関係なく誰でも楽しめるガーデンをつくります。
- ②様々な心身の障がいを持った子どもでも独創的な楽しめるようにします。  
→視覚だけに頼らない、かおりを中心とした五感で楽しめるガーデンとします。
- ③企画場所は緑地の少ない密集住宅地に位置するため、だれでも使えるみどりが求められています。  
→地域住民にとってみどりによる癒しの場となるような空間をつくりま
- ④近隣に小学校・中学校があり、通学路の「みちくさ」の場として楽しめる公共性の高い場所にします。  
→隣接道路から自由に入れるようなデザインとして、自由に楽しめる場とします。

### 地域の自然環境に合わせた持続的なデザイン

- ⑤既存の森を残しながらも、生物多様性の低い荒れた林床植生を復元する必要がありました。  
→既存の高木を生かしつつ、ササを中心とした林床に林床環境にあった様々な植物を植栽します。
- ⑥地域の在来種・郷土種を中心に植栽します。  
→地域の生態系に配慮し、在来種・郷土種を植栽し自然環境の保全を図ります。
- ⑦隣接する支援施設スタッフを中心に地域住民と維持管理を実施します。  
→隣接する常時スタッフが常駐するため、1年を通して丁寧な管理が可能です。
- ⑧四季それぞれで花や実、紅葉が楽しめるガーデンとします。  
→既存樹は高木のため、目線に入る低木地被を中心に植栽し、目で楽しめるガーデンとします。

## 企画団体名

- <施設運営者> 社会福祉法人ぶるーむ
- <建築> 有限会社 辺見美津男設計室
- <ランドスケープ> 株式会社エスエフジー・ランドスケープアーキテツク
- <学識> 名古屋市立大学大学院芸術工学研究科大野暁彦研究室